

やってみよう自分から もっと生かそう学んだことを ともに生きよう感謝の心で



学校だより

1月号

横浜市立谷本小学校

令和4年1月7日

HP アドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamoto/>



地域の力に感謝

校長 和内 昭子

今年もコロナ禍でのお正月となりましたが、谷本小では、毎年恒例「下谷本囃子保存会」の皆さんによる「獅子舞」で学校が始まります。

獅子舞には、疫病を退治したり、悪魔を追い払ったりする意味があるようです。そのため、お正月に獅子舞に頭を噛んでもらうと、その人についている邪気を食べ、その年にご利益がもたらされ1年間を無事に過ごすことができるといわれています。また、子どもが頭を噛んでもらうと頭がよくなるという言い伝えもあるそうです。獅子に頭を噛まれるのは、ちょっと怖いかもしれませんが、勇気をもってチャレンジすると、良いことが起きそうですね。下谷本囃子保存会の皆様、ありがとうございます。

「谷本の森の保全活動」が11月20日に2回目が行われました。森の中では高学年やたぬきクラブのお父さん方、地域の方々で階段修理などを行い、低・中学年や保護者、地域コーディネーターの方々などで下校庭のビオトープの清掃やドングリ・落ち葉拾いなどを行いました。活動後には、森林インストラクターの方から森の大切さを教えてもらいました。さらに、きれいに整備された谷本の森の中をグループで駆け巡り、ビンゴカードを基に森の自然の豊かさを学ぶことができました。「森の保全」は学校予算だけではなかなか難しい状況です。この度、『株式会社 植照～緑の再生工場 フォレスト横浜～』のお力をお借りして竹や枝木の処分を行うことが可能となりました。植照さんは、緑の廃棄物を緑の資源(チップ化して堆肥やマルチング材・燃料等)として再生する会社です。平成26年3月に「横浜型地域貢献企業」に認定され、地域住民が樹木に触れる機会や環境学習を目的としての工場見学会開催、地域自治会のクリーンデーにボランティアの協力なども行っている会社です。現在、市内で発生する剪定枝だけでも年間2万トン。その内の8千トンしかリサイクルできていません。谷本小も廃棄物としてお金をかけて処分する方向でしたが、植照さんの地域貢献事業の一つとしてとして無償で資源化していただくことになりました。12月は4トン車で7往復も運搬していただきました。1月は下校庭の竹もおやじの会のお力をお借りして、植照さんに資源化をお願いする予定です。148年の歴史ある谷本小は、いつも地域の方々に温かく見守られています。



これからも「ともに生きよう感謝の心で」を

みんなで大切に育てていきたいと思ひます。

